

# 有害鳥獣被害防止の ためのハードとソフト について

佐賀県鳥栖市 株式会社 三生  
和田 三生

(農林水産省 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー)  
(環境省 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター)



これまでの経過

**昭和39年 会社設立** 工作機械、産業機械修理、販売

**昭和41年 狩猟免許取得** 鳥類、イノシシ、シカ、熊

**昭和56年 捕獲事業に参入** 捕獲機の開発と販売

**昭和58年 有害捕獲指導の開始** 佐賀県猟友会より初依頼

**平成24年 三生塾開校** 設備（研修室、実演研修、宿泊）

# 有害鳥獣対策 における 問題点

- 高齢化等による防護柵管理の労力不足
  - 捕獲は猟友会に依存
- 被害金額は  
大きくなる一方

## 人材育成

(対象)

佐賀県内市町の狩猟者  
や農業者

データを基に被害対策現場の課題  
を見える化した研修



爪幅を図る測定器

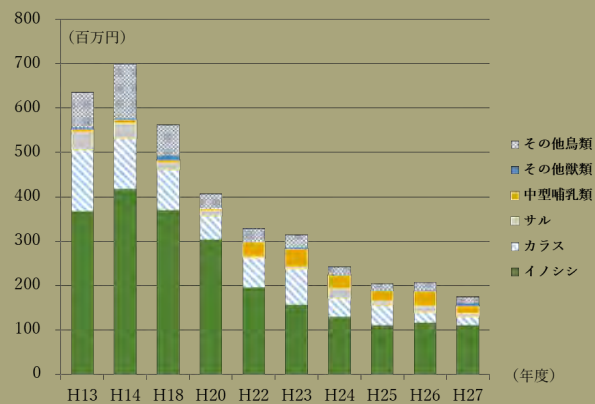
年度	指導回数	指導内容	指導人数
H19	5回	被害防止対策（捕獲）	230
	3回	利活用	85
H20	1回	被害防止対策（捕獲）	45
	3回	利活用	112
H21	1回	被害防止対策（捕獲）	86
	3回	利活用	69
H22	1回	被害防止対策（捕獲）	—
	1回	利活用	45
H23	3回	被害防止対策（捕獲）	150
H24	1回	被害防止対策（捕獲）	65
H25	2回	被害防止対策（捕獲）	26
H27	1回	被害防止対策（捕獲）	30
H29	1回	被害防止対策（捕獲）	30
H30	2回	被害防止対策（捕獲）	58
R2	1回	被害防止対策（捕獲）	5

計30回、延べ1,051人

# 取組の成果

～被害金額の減少と  
モデル取組の普及～

育成から広がる  
地域の活性化



## 【モデルとなる優良事例の育成】

■ 佐賀県太良町伊福区  
(H23年度 生産局長賞)

■ 佐賀県武雄地区有害獣広域駆除対策協議会  
(H24年度 生産局長賞)



# これまでの 取組の理念

～捕獲の失敗を  
少なくすること  
にこだわる～



## 捕獲の失敗が少ない高い性能の捕獲機 (ハード)の研究、開発

錯誤捕獲の少ない機能性をもつ捕獲機の開発

※熊の錯誤捕獲がない捕獲機も開発済み

捕獲機は目的獣に応じた強度と補てい具の活潑で安全を保つ

## 捕獲の失敗が少ない高い捕獲技術 (ソフト)を有する人材育成

失敗を減らし捕獲成功率を上げ、「スレ個体」を作らない技術

# 今後の展望

## (ハード面)

### ■ 猟具のJIS規格

猟具の安全性や捕獲の確実性（捕獲率の検査、検証）

### ■ AI技術の活用

○ 対象獣以外は捕獲機が作動しない錯誤捕獲防止装置

○ AI搭載カメラと自動捕獲機による個体数調整（個体数が上限を上回ったら対象獣を自動捕獲機で捕獲。カメラによる24時間監視、遠隔操作で捕獲後、苦しめずに殺処分し、すみやかな回収、放血、解体場への搬送で利活用率100%を実現、同時に捕獲従事者の安全性も確保）

## (ソフト面)

### ■ 捕獲従事者の技術向上

捕獲従事者の技術（捕獲率）を試験で評価する国家資格制度の設立